



筑波大学感染症内科

Department of Infectious Diseases
Tsukuba University Hospital

感染症科は臓器にとらわれず、診断・治療・予防など感染症に関わる問題を幅広く対象としています。また、感染症の診療にとどまらず非感染性疾患についても鑑別ができ、予防や院内感染対策についてもリーダーシップを発揮できるような人材育成を目指しています。



「感染症に国境はない」

古くから人類と感染症の戦いは続いており、現在も三大感染症(HIV、マラリア、結核)を始め多数の罹患者がでています。近年のSARS、新型インフルエンザのように感染症は国境にかかわらずすぐに伝播するため、国際的な幅広い視点も求められています。

「明日の患者の治療を」

感染症は人から人へ伝播します。つまり治療だけでなく、予防・管理にも取り組む必要があります。また、先進国では薬剤耐性菌が大きな問題となっており、日本における感染症内科医は、院内の感染管理の責を担うことが多くなっています。私たちが治療するのは目の前にいる患者さんだけでなく、まだ見ぬ明日の患者でもあるのです。

研修内容

大学病院では主にHIV・輸入感染症の診療、予防接種の相談と各診療科のコンサルテーション業務を行っています。また、レジデント・学生教育にも科をあげて取り組んでおり、個々のリサーチについても積極的に支援を行っています。県南の複数病院と連携して疫学的なデータを集めることも可能です。

初期研修や他科からのローテーションでは、病原微生物・抗菌薬の基本的な枠組みを理解して頂くと同時に細菌検査室での検査の流れを研修して頂いています。



専門研修プログラム:

決まったプログラムはありません。個人の希望により相談に応じます。(ただし幅広い臨床知識を身につけてもらうため、多くの病院での研修を推奨しています。)

～研修の例～

◆ 卒後10年目

1, 2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目
大学内科ローテ	水戸医療センター・水戸協同	東京都健康長寿医療センター 感染症科				大学病院

◆ 卒後5年目

1, 2年目	3年目	4年目	5年目
市中病院 初期研修	内科S1ローテ (学園・記念)	産休・育休	大学病院

◆ 卒後4年目

1, 2年目	3年目	4年目
市中病院 初期研修	大学病院総診・水戸協同	都立墨東病院 感染症科



取得できる資格(認定医等)

内科認定医,
感染症専門医,
ICD(インフェクションコントロールドクター)

研修責任者: 人見重美 shitomi@md.tsukuba.ac.jp